

終電車の怪

館林止まりの終電車が羽生駅を過ぎ、東武線の鉄橋にさしかかる少し手前の千手院わきを通るといつも最後尾の車両の座席にいつとはなしに一人の美女がすわっており、鉄橋を渡り切って茂林寺駅近くまでくると、いつの間にか美女の姿は消え去ってしまうのだそうです。

こんな話が幾晩か続くと、車掌さんも気味悪くなってきました、この事を上司に話し、車掌さんを二名にしてみました、大東亜戦争もまさに終ろうとしていた頃です。

これは千手院で殺されたむじなの片割れが茂林寺まで行くのではないかとの噂でしたが、果してどんなものでありましょうか。

